

第9回 日本応用老年学会大会で発表いたしました。

期日：2014年10月26日

会場：桜美林大学 淵野辺キャンパス

ご利用者に安心して安全に運動していただくことを目的に、ジョイリハで行っている3時間の運動プログラムのエビデンス（証拠）の構築を行っております。

第7報の第56回日本老年医学会での発表に続き、今回の発表は8回目となりました。

今回の8報ではジョイリハのご利用者様1145名（男性522名/女性623名）を対象とし90日後の筋力（握力）と神経機能（落下棒テスト）の変化を分析しました。

※「落下棒テスト」とは、素早く反応し動く為の敏捷性を測定する検査。

【タイトル】

機能訓練デイサービスのあり方に関する研究（第8報）

- 運動機能変化の疾患別分析 -

第9回日本応用老年学会大会
2014年10月26日（日）
桜美林大学：淵野辺キャンパス

 日本応用老年学会
Japan Society for Applied Gerontology - Japan

**機能訓練専門デイサービスのあり方
に関する研究(第8報):
運動機能変化の疾患別分析**

○大金 朱音¹⁾

今井 悠人、長谷川 幹、岡本 将²⁾
島田 裕之、篠崎 尚史、鈴木 隆雄³⁾

1) 至誠館大学

2) 株式会社ウェルネスフロンティア

3) 国立長寿医療研究センター

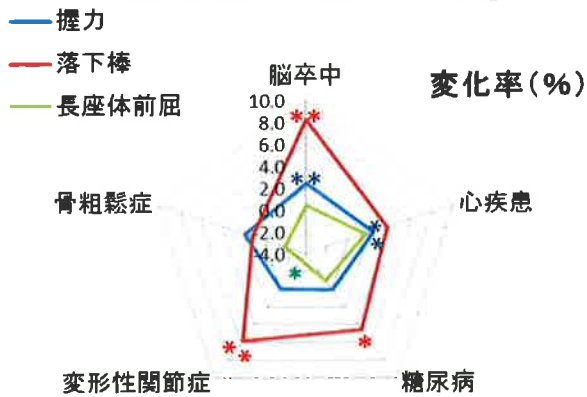
有疾患率

1%水準で性差あり($\chi^2 = 224.9, p < 0.01$)

疾患	男		女		合計	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
脳卒中	230	44.1	128	20.5	358	31.3
糖尿病	139	26.6	103	16.5	242	21.1
心疾患	120	23.0	107	17.2	227	19.8
変形性関節症	61	11.7	232	37.2	293	25.6
骨粗鬆症	25	4.8	169	27.1	194	16.9
合計(人)	522		623		1145	

5大疾患(合併症あり)における運動機能の変化

(対応のあるt検定, ** 片側 $p < .01$, * 片側 $p < .05$)



【結論】

ジョイリハでの運動は筋力・神経機能の改善に有効であるという結果が出ました。
脳卒中の方に大きな改善が見られ、特に握力は麻痺側に大きな変化が見られました。

また、疾患率には性差が見られ、男性には脳卒中や糖尿病、心疾患などの血管系の疾患が多く、特に脳卒中は男性ご利用者様の約45%が有していました。

女性には変形性関節症や骨粗しょう症などの運動器疾患が多く、特に変形性関節症は女性のご利用者様の約37%の方が有していました。

まとめ

機能訓練専門デイサービスの90日間の利用は、

- **脳卒中、心疾患：**筋力の改善に有効
- **脳卒中、糖尿病、変形性関節症：**神経機能の改善に有効
- **脳卒中、心疾患、糖尿病、骨粗鬆症：**柔軟性の維持に有効

現状の機能訓練は、**血管系疾患者の運動機能改善に効果的である。**

● 脳卒中

- ① **筋力の改善効果は、**
麻痺がない者よりも、麻痺がある者で大きい。
片麻痺者の麻痺側にも非麻痺側にも同様に認められる。
- ② **神経機能の改善効果は、**
麻痺がない者と、麻痺がある者に同様に認められる。
片麻痺者の麻痺側にも非麻痺側にも同様に認められる。



今後も引き続き研究、発表を行ってまいります。

データ収集と写真の開示にご協力くださいましたご利用者に感謝いたします。

また、今回ご協力くださいました先生方には、この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

国立長寿医療研究センター 鈴木隆雄先生、島田裕之先生、篠崎尚史先生

至誠館大学 大金朱音先生

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

第9回日本応用老年学会大会

2014年10月26日(日)

桜美林大学:淵野辺キャンパス



日本応用老年学会

Society for Applied Gerontology - Japan

機能訓練専門デイサービスのあり方 に関する研究(第8報): 運動機能変化の疾患別分析

○大金 朱音 1)

今井 悠人, 長谷川 幹, 岡本 将 2)

島田 裕之, 篠崎 尚史, 鈴木 隆雄 3)

1) 至誠館大学

2) 株式会社ウェルネスフロンティア

3) 国立長寿医療研究センター

有疾患率

1%水準で性差あり($\chi^2 = 224.9, p < 0.01$)

疾患	男		女		合計	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
脳卒中	230	44.1	128	20.5	358	31.3
糖尿病	139	26.6	103	16.5	242	21.1
心疾患	120	23.0	107	17.2	227	19.8
変形性関節症	61	11.7	232	37.2	293	25.6
骨粗鬆症	25	4.8	169	27.1	194	16.9
合計(人)	522		623		1145	

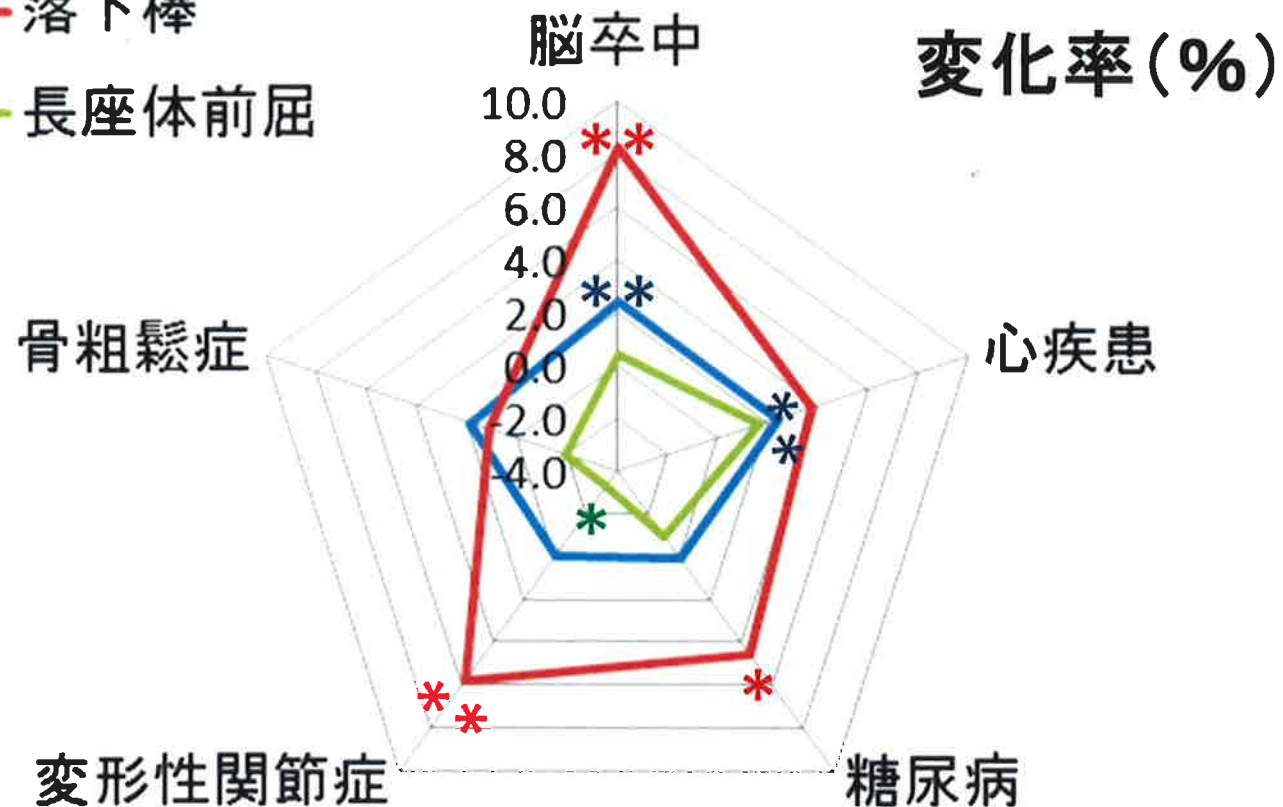
5大疾患(合併症あり)における運動機能の変化

(対応のあるt検定, ** 片側 $p < .01$, * 片側 $p < .05$)

— 握力

— 落下棒

— 長座体前屈



まとめ

機能訓練専門デイサービスの90日間の利用は、

- 脳卒中、心疾患：筋力の改善に有効
- 脳卒中、糖尿病、変形性関節症：神経機能の改善に有効
- 脳卒中、心疾患、糖尿病、骨粗鬆症：柔軟性の維持に有効



現状の機能訓練は、血管系疾患者の運動機能改善に効果的である。

- 脳卒中
 - ① 筋力の改善効果は、
麻痺がない者よりも、麻痺がある者で大きい。
片麻痺者の麻痺側にも非麻痺側にも同様に認められる。
 - ② 神経機能の改善効果は、
麻痺がない者と、麻痺がある者に同様に認められる。
片麻痺者の麻痺側にも非麻痺側にも同様に認められる。